

summer tama river beach



初夏の多摩川

 バランシングストーン
やってみた


水辺近くには外来種のハルシャギクとメリケンガヤツリ。歓迎されない植物だが美しい。



小道を下った先がワンドだったのだが、今はガマやクサヨシが茂るのみ。その後ろは柳の木。



いつのまにかワンドが消えてしまった多摩川。けれど大きな石でできたワンド案内のサインの横にはきれいに草刈がされた小道が岸辺へと続いている。



河川敷にて
枡を決め、石川講師と共に植物の種名などを調査

●●●環境モニター●●●
市が主催する環境モニターでは、多摩川の河原で植物観察を行ってきた。今年度は今までとは違い、年間5回にわたって同じ場所（枡を設定する）の植生調査を継続して実施することとした。

5月28日（土）第1回目は、多摩川自然情報館にて植生調査手法の一つであるコードラート調査について簡単な講義を受けた後、多摩川河川敷にて実際に体験。コードラート（方形枡）内に生育する植物の種名、被度、群度などを調査票に記入していく。初回で慣れないこともあり2か所調査したところで時間切れ。もう1か所は種名を挙げるのみにとどまった。

（環境モニターRK）



土手法面に咲く
ムラサキツメクサ



今回の重さは？

主催：一般社団法人
生物多様性保全協会

（生物多様性保全協会会員：石川和宏）

の背丈ほどあるオオブタクサを引っこ抜いて、得意そうに振り回す子供たちも楽しそう。

メインのアレチウリは、まだ生え始めたばかりの小さなものが多く、下草に紛れて芽生えた双葉が数多く見られ。集めたアレチウリは、全体で3.7kg。その他オオブタクサやオオキンケイギクなども駆除の対象としたが、生育は少なかった。

今回は、それほど多くを駆除したわけではないが、（ここ数年の作業の成果か？）双葉の出方からすると、次に駆除を予定している秋までには、かなりの個体が育ってしまうと思われる。次回もぜひとも多くの方に参加していただき、狩猟本能を刺激する「アレチウリ狩り」を楽しんでいただけたらと思う。



●●●外来植物駆除●●●
6月12日（日）
例年のように多摩川の河川敷で外来植物駆除を行う。
親子連れの参加も見られ、自分

花の履歴書 38

戸部英貞 (絵・文)

ネジバナ (捻花)
=モジズリ (捩擦) 科
ラン



Spiranthes sinensis var. amoena 板花

都会の中で野生のランを探すことなど考えたこともないが、梅雨の晴れ間に出かけると思わぬ発見をすることがある。公園や河原の土手の芝の中に小さな桃色の花を螺旋状に付けたネジバナとの出逢だ。

芝生の普及と共に自生を掘げた植物の一つで、この季節芝生のあるところで出逢う機会が多いが、ほかの場所ではあまり見かけることが少なく、ネジバナはシバとの相性が良い植物だ。あまりの可愛さに鉢植えにして楽しむとうとすると、意外に機嫌が悪く、翌年には芽も出さないことが多い。そのくせ近くにあったあちこちの鉢に種子が飛んで花を咲かせている。

ネジバナの仲間には北半球の温帯から熱帯を中心に種類も多く、花はどれも螺旋状に下から咲き上がり、学名の *Spiranthes* は螺旋を意味する言葉で、ネジバナの名もその様から名付けられたものだ。アメリカ大陸には数種類のネジバナが自生し、花の色はすべて白(Ladies-Tresses)お下げ髪と呼んで親しんでいる。

螺旋の回転は日本のネジバナは右巻きが圧倒的で、時に左巻きや垂直のもの、途中で回転が逆になるものがあり、そんなものを探して観察するのも楽しいものだ。

アメリカで出会ったいくつかの種類はみな左巻きだったが、数多く見ていないのでガイドブックを見ると両方ありそう。以前アラスカを訊ねた折に出逢ったネジバナは二重螺旋をしており、三つ編みのお下げ髪を連想させられた。

ネジバナの仲間は北半球の温帯から熱帯を中心に種類も多く、花はどれも螺旋状に下から咲き上がり、学名の *Spiranthes*

チョウ好きの観察記 その②

赤勝て！ □ 白勝て！

5月の風の強い午後、チョウ達はどのようにいるかと人間町辺りの緑地に行つて来ました。気になるのは、夕方活発に飛び回りコナラやクサギの枝先に高く止まるアカシジミとウラナミアカシジミです。

樹木が多少風の力を弱める林内に入ると、何と足元の笹で風に向うウラナミアカシジミがいました。日本のチョウの中で名前に赤がつくチョウは、タテハチョウ科(この仲間の前足は退化し、4本足に見えます)のアカタテハとヒメアカタテハ。それにシジミチョウ科のアカシジミとウラナミアカシジミの4種です。このウラナミアカシジミは、濃い橙色の裏面一面に黒色筋が目立つ優雅なシジミチョウです。30分ほどお付き合いをすると表面の赤(実際は濃い橙色)を少し見せてくれました。

さて、次は白のシジミチョウの番です。ミズイロオナガシジミです。表面は薄い水色掛



ウラナミアカシジミ と ミズイロオナガシジミ

風に耐えていた事になります。近年は5月に開催される運動会にかこつけ、どっちのシジミチョウが美しさを勝つか考えて見ました。ミズイロオナガシジミの清楚な白色も素晴らしいけど、珍しさと優雅な赤色でウラナミアカシジミの勝ちかな？ 皆さんはどうですか？

尚、この日アカシジミは見られませんでした。が東京都準絶滅危惧種のヒメトラフハナムグリが出現しました。(衛藤 譲二)

ライトトラップ

ちょうふ環境市民会議で設定しているデータプロジェクトは、怪しげな白い布とブラックラ市内の動植物の記録を順次まといトをセットする。市の許可をめていこう、というもの。リーとり近隣にはお知らせチラシをダーは昆虫好き(俗にムシヤと撒いていられるらしいが、過去、別の場所では通報されたこともあるという。確かに怪しい。

6月24日 その石川さんがなんと日没から翌朝まで昆虫の調査観察を行うという。物知らずな私としてはライトに群がる蛾などを期待したが時期的なこともあるのか、自然は

「仕事でもないのにそんな酔狂なことをするんだ。」と興味津々そう甘くない。9時頃まで粘つ



怪しいライト



ネコハエトリ
ちよつと毛深くて
クリツとした目。
ネコに似てる？

て可愛いムシを観察した。因みに石川氏は翌朝まで留まり、3匹のカブトムシを発見したという。もう夏ですね。(NK)

ちょうふの崖線樹林を守る

入間・樹林の会

5月15日(日) 晴れ 参加者7名

三角地の草刈りを行った。中から放置された鉄パイプとブロック石がでてきた。4月より草丈が伸びていて、これからの季節が心配。キンラン・ギンランが咲いていたという場所を確認、ギンランは初お目見え。15年の下草刈りの成果！



三角地草刈後

盗掘されないようにしたい。花はユキノシタ、トキワツユクサ、カタバミ、ツルニチニチソウ、ハルジオン、アカツメクサ、ホウチャクソウ



ギンラン花後



フクラスズメ幼虫

6月19日(日) 曇り 参加者8名

通路からの見通しをよくするため坂道坂下側の下草刈りと枝伐採を行った。すっきりしてミヨウガの群落が目立ってきた。花はドクダミ、ナンテン、ヨウシュヤマゴボウ、アジサイ、ツユクサ



コウゾの実



ツル伐採作業

カニ山の会

5月14日(土) 晴れ 参加者8名

久々のフローラ調査。植物に詳しい会員を先頭に皆で名前を読み上げていく。入口付近ではアズマネササの花が咲いていたが普段は見落としていたのせいか、皆で「へえ！」と観察。昨年見たヤマユリがまた出ていたので数年後には花が期待できるかもしれない。ウワミズザクラがいつのまにか立派な木になっていてビックリ。

午後は下草刈をした。子ども達が遊びに来ていて掘り出したカブトムシの幼虫を見せてくれた。



東樹林手前(フローラ調査外)の地面は散ったエゴノキの花でいっぱい

6月11日(土) 晴れ 参加者10名

ドンダリの森地区での草刈。昨年通り道の脇でたくさん咲いていたホタルブクロが花ざかり。踏まれないように枝で囲いを作った。マヤランも昨年と同じ所にたくさん出ていた。

リーダーの小島さんから今後は来年度の保全計画に合わせ全体のプランも考えていきたいとの話があった。(鍛冶)



ホタルブクロ



マヤラン

若葉の森3・1会

5月1日(日) 晴れ 参加者10名

今回から市提供のヘルメット着用。

最初にキンラン・ギンランの観察と植生調査を実施。キンランは今年もたくさん開花したが、第1緑地のギンランがほとんど咲いてなかった。作業は、第1緑地のコンポスト柵補修。六別坂と緑地内の落葉かき。ごみ拾い。腰掛用(写真)の切株を整理。



キンラン

ギンラン



並べた切株の腰掛で休憩

6月5日(日) 曇り 参加者4名

直前まで雨で参加者少。初参加1名。第1緑地でコンポスト柵補修、切株埋戻し、傷んだ杉の小木伐採。六別坂落葉かき。ごみ拾い。第2緑地で、キンラン保護柵と注意札撤去ほかの作業を実施。



コクワガタ(オス)

◆若葉の森で歌う会(第10回)

5月8日(日) 第1緑地で開催。参加者60名超。歌声や楽器の音色が森に響き、人形劇も楽しんだ。「もりのちず」や蝶の写真など六別坂沿いの展示も華やか。



歌う会



歌う会の展示

(NOK)

凸凹森の会

5月8日(日) 晴れ 臨時活動日 参加者4名

西側の入り口付近の草刈りとネズミモチの伐採。雑草が繁茂しているとゴミの投棄が増えるのです。

5月20日(金) 晴れ 立ち会い3名

市からチップカーが来てくれて、山積み枝を片づけてくれた。竹はダメとのこと。伐採した木々や竹の処分の仕方を考えるきっかけとなりました。

5月22日(日) 晴れ 定例活動日 参加者9名

また新しいメンバーが増え、作業の人手が多くなつて活気が増えました。

2つのエリアに「竹取の丘」「みのりの丘」と呼び名が決まりました。

その「竹取の丘」に「オニノヤガラ」という今まで見たことのない植物が生えていました。また草地では「オオミズアオ」の羽化を発見、皆で観察しました。

オオミズアオ
独特のヒスイ色の
羽が美しいオニノヤガラ
ラン科の腐生植物

平成 28 年度 雑木林ボランティア講座 主催：環境政策課 企画運営：ちょうふ環境市民会議

雑木林ボランティア講座 第1回 5月28日

まずは調布の里山の昔と今を知ろう

市内に今でも残されている里山の風景と雑木林を保全していくための全6回講座の初回は地形と合わせ、その歴史的な経緯を知ることからはじまった。

午前中は造園家で地元の歴史にも詳しい小林冬樹講師による講義。身近な自然である雑木林を見直すことから始まった保全活動だが、かつては農作物や燃料に貢献してきた欠かせない場所であった。受講生は地元の歴史を知ってなるほどと感心。「午後から予定があり早退する。」とおっしゃっていた方も興味津々、ぎりぎりまで粘って授業を受けていた。

佐須の田んぼを観察

しながら力二山の雑木林へ

佐須の田んぼでは「田んぼの学校」を主宰している尾辻氏からお話を聞く。水の問題や、価格のこと。現在調布では家庭用に細々と続けられている稲作だが若い方の人手が少なくなり米作りも次々と作付け面積が減っていることなど。またいなくなつたホタルを復活させたいという希望も。

市の職員からも、貴重な里山を守るため出来る限りのことはしたいと考えており、今年度は



子ども達を巻き込んでドングリから育てた苗圃



田んぼの学校校長 尾辻氏から説明を聞く

「佐須農（みのり）の家」という農業家のための施設もできた、などの説明があった。

その後力二山では市民による保全作業のようすを聞いたり、活動グループが「ドングリの森」と名付け、新たな雑木林の復活を目指している場所などを見学した。



6月12日 田んぼの学校 田植え

尾辻校長の号令に従って田植え。まっすぐ植えていくのは意外に難しい。



編笠にアオツツラフジの籠という粋な支度の松井講師

雑木林連絡会 & 緑と公園課による
平成28年度 安全講習会
6月18日 3回目になる安全講習。室内講義では市街地にある緑地の管理で気をつけなければいけないことや力二山の目指す林は？などの基本的なお話から、高齢者が参加することも多いのでAEDの使い方を知っておくことも大切、など様々なお話を伺った。午後の実習は力二山で陰樹除去と下草刈り。一般的な鎌の力バーがはずれやすいのは製造者の認識が足りない、という意見には皆納得。

環境市民活動スケジュール

入間・樹林の会

原則毎月第3日曜に樹林の保全活動を行っています。参加希望者は直接入間地域センターへ。

● 8/21(日) 9:30～12:30
● 9/18(日) 9:30～15:00

力二山の会

毎月第2土曜に自然広場で保全活動を行っています。奇数月は午後まで。参加希望者は野草園横に直接集合。

● 8/13(土) 10:00～12:00
● 9/10(土) 10:00～15:00

若葉緑地の会

原則毎月第2日曜に若葉町3丁目第3緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

● 9/18(日) 9:30～12:00
● 8月の活動はお休みです。

若葉の森3・1会

原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第1・2緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

● 9/4(日) 9:30～12:00
● 8月の活動はお休みです。

凸凹森の会

● 7/31(日) 9:30～12:00
流しそつめん・スイカ割
雨天中止

● 8/28(日) 9:30～12:00 草刈
● 9/25(日) 9:30～12:00

希望者は直接凸凹森へ。

先の5団体の保全活動問合せは
緑と公園課 042-481-7083

市民発 ちょうふの自然だより

◆「ちょうふの自然だより」はカンパとボランティアで支えられています。2009.3.15に設立された市民団体「ちょうふ環境市民会議」が自主発行しています。調布市内の身近な自然情報や市民の保全活動の記録、環境イベント案内、コラムなどを掲載、無料で配布しています。

発行：ちょうふ環境市民会議 連絡先：info@chofu-kankyo-shimin.org ※携帯メールでのお問合せには当方の返信が届かない場合があります。

“自然だより”の置き場所を募集中です。

◆地域福祉センター、たづくり11Fみんなの広場、調布市環境部(市役所8F)、あくろす2・3F、郷土博物館、実篤記念館、多摩川自然情報館のほか、神代植物公園植物多様性センター、野菜食堂みさと屋(布田)、ニワコヤ(仙川)、など。置き場所&応援カンパ募集中です！

◆会員募集！年会費1000円/サポーター会員500円
郵便振替 (00150-9- 765663 ちょうふ環境市民会議)

◆この自然だよりは ちょうふ環境市民会議ホームページにも掲載、バックナンバーもご覧になれます。◆